

【大阪アジア映画祭2010 連携企画】

シネ・ドライブ2010

関西を中心に活躍するインディペンデント監督の作品から海外作品まで幅広く上映する新進映画監督のためのショーケース。開催は2001年から、当初は「シネドライブ」の名称であったが、昨年より新たに「シネドライブ」として復活した。若手監督のワークショップも含め、作ることから上映していくことまでの指針を示す。今年は《アジア・ミーティング大阪》とも連携を密にして、昨年アジア・ミーティングに参加した監督の新作や韓国・中国など海外の作品も上映し、短編を含め50本近い作品とともに刺激的な「場」を提供する。<http://www.planetplusone.com/cinetlive/2010/>

会期…3月20日(土)～4月9日(金) ※料金、タイムスケジュールは劇場までお問い合わせください。

会場…プラネットスタジオ・プラス・ワン(梅田・中崎町) TEL.06-6377-0023 シネ・ヌーヴォX(九条) TEL.06-6582-1416



『ママは売春婦』

2009年/韓国/104分 監督:イ・サンウ
◎昨年のアジア・ミーティングで、監督も交え上映した初監督作品「トロピカル・マニラ」が各国の映画祭に招待されている、期待の新人イ・サンウの新作。実の母親に売春を斡旋している男。母親と息子の歪んだ親密性と深い愛情。母親との異常な関係性を通して、複雑な家族関係が浮き彫りにされる。



『バチアタリ暴力人間』

2009年/日本/114分 監督:白石晃士
◎2009年「オカルト」を劇場公開した白石晃士監督の最新作。白石はホラービデオ制作のため、カルト宗教の儀式取材していた。そこにいたチンピラの笠井と山本は儀式をブチ壊し、撮影していた白石に出演料およびビデオ出演を要求する。ビデオ制作はどこへ向かうのか……。

★プレミア作品はこの2本を含め全10本を予定。その他インディペンデントで活躍する作家の大作から学生作品まで、日本のインディペンデント映画の現在を問う!

韓国映画特集2010

2000年以後、韓国映画の評価は世界的に高まるばかりである。この10年の韓国映画代表作、およびその前触的存在の『永遠なる帝国』(95年)を含め16作品を一挙上映する!

会期…3月6日(土)～26日(金) 会場…シネ・ヌーヴォ(九条) TEL.06-6582-1416

料金:前売1200円/当日1400円 Pコード:461-631 ※タイムスケジュールは劇場までお問い合わせください。



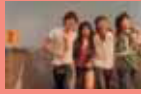
『永遠なる帝国』1995年 監督:パク・ジョンウォン
18世紀末、朝鮮王朝の宮廷で起こった殺人事件をめぐる、国王と官僚たちとの間で静かに巻き起こる熾烈な権力闘争を、一日という時間設定の中に描き込んだ歴史ミステリー。



『オールド・ボーイ』2003年 監督:パク・チャヌク
15年間監禁され、突然解放された男の前に、謎の男が現れ、彼が監禁された理由を5日間で解き明かせと迫る。チェ・ミンシク、ユ・ジテ主演、カンヌ国際映画祭グランプリ受賞作品。



『殺人の追憶』2003年 監督:ボン・ジュノ
6年間で10人の女性が犠牲となり、韓国を震撼させた連続殺人事件。未解決に終わった現実の事件を背景に、捜査に携わった男たちの心理をリアルに描き出す。ソン・ガンホ主演。



『僕らのバレエ教室』2004年 監督:ビョン・ヨンジュ
若者たちがひよんなことからバレエ教室に通い始め、そこでの出会いをきっかけに、自分たちの殻を突き破って大人への階段を上り始めるまでを繊細で温かな視点で描いた青春ストーリー。



『初恋のアルバム〜人魚姫の伝説〜』2004年 監督:パク・フンシク
親子2世代のカップルを軸に、今では険悪な仲になってしまった両親の青春時代の甘く切ない純愛模様を、ハートウォーミングなタッチで描いた感動のラブロマンス。



『ヨコソナマドナ』2006年 監督:イ・ヘヨン、オ・ヘジュン
女の子になりたい男の子が家族の問題や偏見に悩むことと前向きに生きようとする姿を、コミカルかつ温かい視線で描いた異色の韓国映画。



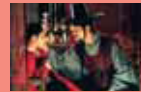
『夏物語』2006年 監督:チョ・グンシク
自由を追い求める大学生と、悲しい過去を背負った少女が、生涯一度だけの愛に出会う……。イ・ビョンホンが20代と60代の2世代を真事に演じている。



『王の男』2006年 監督:イ・ジュンイク
16世紀初頭、漢陽にやってきた2人の旅芸人。2人は宮廷で王を笑わせたことから、重臣や愛妾の陰謀と策略に巻き込まれていく。歴代動員数新記録を樹立し、数々の賞に輝いた傑作。



『私たちの幸せな時間』2006年 監督:ソン・ヘソソ
生きることに希望をみいだせない男女が、限られたわずかな時間の触れ合いを通して、次第に愛と救いを得ていくラブストーリー。カン・ドンウォン主演。



『恋の罠』2006年 監督:キム・テウ
李朝時代の貴族で実直な官吏キム・ユンソは名文家を自負していたが、巷で大流行の淫らな本の存在を知って衝撃を受け、ひそかに自ら筆をとる。ハン・ソッキュ主演、官能宮廷絵巻!



『まぶしい一日』2006年 監督:キム・ソクホ、キム・ジョンガン、ミン・ドンヒョン
済州島、ソウルと東京、そして仁川国際空港での、たった一日の出来事。日本と韓国の若者たちの出会いと成長を3つのエピソードで描く。第1話に杉野希妃が出演している。



『シークレット・サンシャイン』2007年 監督:イ・チャンドン
鋭い社会批判も織り込みながら、愛する者を失う悲しみと、それを乗り越えて生きなければならぬ主人公たちの心の葛藤が鮮烈に描かれた究極のラブストーリー。



『光州5・18』2007年 監督:キム・ジファン
1980年5月の「光州事件」を映画化。韓国の歴史に翻弄され犠牲になった市民の悲劇、そこに浮かび上がる人間愛を衝撃的に描いた必見の感動作。



『アンティーク〜西洋洋装洋菓子店〜』2008年 監督:ミン・ギョドン
日本でもテレビドラマ化・アニメ化された人気コミックを実写化。甘いものが苦手なジニョクは、女性客が多いからという理由で洋菓子店「アンティーク」を開く。チュ・ジファン、キム・ジェウク主演。



『チェイサー』2008年 監督:ナ・ホンジン
実在の事件をベースに、デリヘル斡旋業を営むジュンホとシリアルキラー・ヨンミンとの対決を、手に汗握る緊迫感とともに描いた衝撃のクライマックス。2009年キネマ旬報ベストテン4位。



『映画は映画だ』2008年 監督:チャン・フン
ソ・ジソブとカン・ジファン、2大スターの競演。本物らしくヤクザを演じたい映画スターと、映画俳優にならなかったヤクザの運命的な出会いと友情の物語。

大阪アジア映画祭 交流イベント

【アジアの監督たちと行く中之島クルーズ】

春三月、アジアの監督たちと中之島クルーズに行こう! ABCホール前の「ほたるまち港」から中之島を一周する楽しい船旅。船内で大阪アジア映画祭に参加したゲストたちとの交流の集いを行います。どんなゲストが来られるかは当日のお楽しみ。ぜひ、ご参加ください!



3月13日(土) 16:30出航

【コース】

ほたるまち港～堂島川～大川(川崎橋でUターン)～土佐堀川～ほたるまち港(1～1.5時間のクルーズです)

乗船料金:1500円 予約受付:電話予約制。TEL.06-6441-0532(一本松海運)

募集人数:34名 ※満員になり次第、募集を締め切りますので、お早めにご予約ください。

主催:大阪アジア映画祭実行委員会 協力:一本松海運株式会社

【ウエルカム・パーティ】

アジアからのゲストをお迎えしての交流パーティーに、ご参加いただけます。春のひとつ、アジアの映画人たちのアジア・ナイトを楽しくお過ごしただきたいと思ひます。参加された方には公式カタログをプレゼントいたします。50名様限定ですので、お早めにお申し込みください。

3月12日(金) 19:30～

会場:大阪市中央公会堂3階中集會室

料金:4000円(前売のみ/50枚限定)

※チケットぴあでお求めください。Pコード:556-149

※お酒もご用意しておりますので、成人限定とさせていただきます。

※チケット枚数に限りがありますので、お早めにお求めください。